

○平成30年11月19日 経済委員会の第3回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

経済委員会では、今年度のテーマを「企業立地の促進及び企業立地による地域活性化について」、「地域資源（交通インフラ等）を活用した観光客誘致等の取り組みについて」及び「農畜水産物のブランド化の推進について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、高松市塩江町のホテルセカンドステージを訪問し、会社概要や体験コンテンツ開発の取り組みなどの説明を受け、外国人観光客の受入れに向けた対策等の質疑を行った後、体験施設等の視察を行いました。



次に、高松市香南町のアスパラガス栽培ハウスを訪問し、アスパラガスの施設栽培とブロッコリーなどの露地野菜を組み合わせた周年体系の確立などの説明を受け、高品質化に向けた取り組みの質疑を行った後、アスパラガスハウスやブロッコリー畑の視察を行いました。



最後に、高松市郷東町のフソテクノセンターを訪問し、人型ロボット「Pepper」による会社概要や技術開発及び人材育成の拠点施設としての運用状況などの説明を受け、水ビジネスの海外展開や汚水浄化の開発等の質疑を行い、「2018年度グッドデザイン賞」を受賞した施設等の視察を行いました。

